

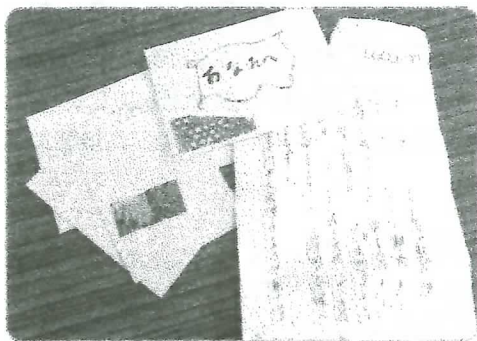
## “ご縁”をありがとう！



— 支援物資がきっかけで、県外の方との交流が生まれています —

愛知県最大の生協コープあいちさんが、愛知県の皆さまからお預かりしたバスタオルやフェスタオル、ハンドタオルの支援物資。その数は数十万本にも上りました。そのうち約3万枚を岩手県気仙地域の皆様にお届けする活動をしたのは5月～6月にかけてのこと。それは避難所、公民館にはもちろんのこと、支援物資がなかなか行きわたっていない自宅避難の方へのお届けや社会福祉法人、地元のお店さまなどにも配布協力していただき、仮設住宅のお住まいの方々などへ手渡しさせていただきました。

## 震災で生まれた新たな出逢い、そして交流。



そんな中で素敵な“ご縁”が生まれていました！被災されたSさんが支援タオルを受け取ったあと、よく見ると、中には励ましの手紙が…。それを見てとても励まされたSさんは、感謝の気持ちを伝えようと手紙を出したところ、思いがけず再びお手紙が届き、“いつでも手紙くださいね”と未使用の美しい絵柄の切手とハガキが同封されていたとのこと。うれしい心遣いですよ。

Sさんは『これからも手紙などの交流を続けていきたい』と、今後もこのご縁を大切にしていられるとのこと。そしていつか愛知県に会いに行きたい、と。

このたびの震災で多くの辛く悲しい別れがありました。けれど、新しい出逢いやご縁もたくさん生まれています。それはSさんだけでなく多くの方々実感されていることだと思います。遠方から来たボランティアも皆、多くの出逢いや『ありがとう』という言葉、『お茶っこしてくか？』『お風呂入ってくか？』と聞いていただけのご縁、心遣いをとても嬉しく感じています。今まで暮らしていた地区とは違う地区の仮設住宅に入られて生活をされている方、これからはじめられる方もおられるかと思ひます。

“同じ仮設の人は知らない人ばかりだ”と思う不安な壁を思いきって乗り越えて、御自身から周りの方に声をかけてみませんか。それは『こんにちは』から始まる“縁”。みんな同じ辛い思いをされた仲間、同じ地区で暮らすことになった新たな出逢いを、“ひとつの縁”と思い、一歩踏み出してみるのも復興への第一歩ではないでしょうか。

# 大船渡ボランティアセンターの一日

(大船渡市盛町・大船渡市総合福祉センター駐車場)

震災直後から大船渡ボランティアセンターを介し活動している方々は述べ1万人を超えており、東京、神奈川、秋田、愛知、北海道、福岡など、遠くからも来て活動していただいています。

ボランティアバスと呼ばれる大型バスに乗り合いで遠方から来る人や、個人で来る人など様々ですが、毎朝、依頼者のニーズによりそれぞれの活動をマッチングし振り分けます。内容は、家具の移動や片づけ等々。15:00 過ぎにはボランティアさんが戻ってきますが、汗まみれ泥まみれで戻ってきます。

暑くなったり雨が降ったり天候が不安定なため、体調管理にはじゅうぶんに気をつけて活動をお願いしています。また住民の迷惑とならないよう野宿は禁止とさせていただきます。

この日は愛知県清須市から大型バスで活動に訪れた皆さんから大弾幕の提供がありました。早速センターに設置させていただき、清須市の皆さんと集合写真パチリ☆



近藤さんはじめ皆さん優しい方ばかり

ボランティアセンターは、被災された方々からの御依頼の受付、ボランティアの受付とマッチングなど、一日が慌ただしく終わる毎日。けれど、大船渡市社会福祉協議会の近藤さん(写真中央)をはじめスタッフのみなさんが、活動を終えて帰られてゆくボランティアさんたちを見送る時、どんなに忙しくても車一台一台に笑顔で手を振っている姿がとても印象的でした。

ボランティア依頼したい人・ボランティア活動したい人  
お問い合わせは、090-7320-6504 (8:30~17:00)まで。

## 新たな復興のシンボル発見！

7月2日(土)、大船渡市盛町宇津野川(通称:セメン川)でホタルを発見しました。毎年ホタルが舞うこの季節ですが、今年は潮をかぶったため地元住民のあいだでも『今年は無理かなあ…』『ホタルきてほしいなあ』と、ホタルが見られなくなるかもと心配する声が多く聞かれました。

…が！ いましたよ！いままでと同じように光を放ってましたよ。

地元住民の方と一緒に探したのですが、毎年ホタルを楽しみにしているちびっ子だけでなく大人たちも、

『こっちにいるよー』『こっちにもいるよー』と喜びの声が弾みます。みなさん今年も盛町の“セメン川”にホタル見に来てくださいね。

ホタル  
みつけたよ。

# 大船渡観光ガイドブックを市に寄贈

観光ボランティア組織「椿の里・大船渡ガイドの会」が、大船渡観光ガイドブックを市に寄贈しました。

このガイドブックには、石川啄木の気仙周遊マップが掲載されているほか、震災前の大船渡の町並みも多く取り入れられています。

ガイドの会のみなさんは、震災後ほかの活動団体と連携しながら炊き出しなどで意欲的にボランティア活動されており、今後は、被災者体験談をまとめた体験集の発行や、遠方から来ているボランティアさんたちに大船渡をガイドして周りたいとのこと。

3/11 午前に完成→印刷発注していたという、このガイドブックはA5判オールカラー23ページ。市は図書館などに置くことにしているとのこと。また、末崎町の暮石レストハウスなどでも販売予定だそうです。



各エリアごとに観光ポイントが、地図と写真付きでとてもわかりやすく掲載されている。

## イベントのお知らせ！ ～みんなおともだち～

子育て支援ボランティア・のびのび子育てサポーター「スマイル」では、下記の日程で、子ども向けイベントを開催します。子育て中のおかあさん、おとうさん、おじいちゃん、おばあちゃん、お気軽にお越しください。

▼じかん：7月11日(月) 10:00～11:30

▼ばしょ：児童家庭支援センター大洋(立根町YSセンターの裏手です)

▼参加費：1家族100円(保険料です) ※おやつは各自で持参

お問い合わせ先：「スマイル」代表 村上トメ子(TEL:0192-26-2908)  
または、事務局 菊地朱美(TEL:0192-27-8425)迄

## 大船渡市内支援団体交流会が行われました

— 復興支援活動の情報共有と、今後の被災者支援についての話し合い —



6/30(木) 19:00～県立福祉の里センターに於いて、NPO法人 舩(もやい)の呼びかけによる交流会が行われました。参加者は、大船渡市内および県内外からの支援団体等。話し合いのテーマは復興支援活動の情報共有と交流、および今後の被災者支援についての相談。

その中で“仮設住宅には様々な支援団体が入りしており、入居している方々が『同じようなことを何度も訊かれる』と、困っている”との声がありました。

各団体が情報共有をするなど活動にも工夫が必要だという話し合いが行われ、これが次回のテーマとなりました。この問題は早急になんとか解決しなければならないと考えます。今回は、7/7(木) 19:00～ 場所は今回と同じく県立福祉の里センターです。多くの活動団体の出席を、NPO法人 舩はじめ、当連絡会からもお願いいたします。

# 連絡会からのお知らせ

気仙市民復興連絡会では気仙地域における活動団体等の情報収集・発信(助成金情報提供等)を行っていきます。情報を発信したい等、相談等の窓口としてお気軽にご利用下さい。

広報活動のお手伝い(取材)も行かせていただきます。お気軽に広報担当までお尋ねください。



## 気仙地方でのNPOおよび市民活動団体等の代表者さまへ。

7月9日(土)13:30～、気仙市民復興連絡会の事務所に於きまして[世話人会]を開催します。つきましては気仙地域(大船渡市、陸前高田市、住田町)で各支援活動等を行っているNPO団体、市民活動団体の方々に広く出席していただき、情報交換と共有・今後の展開などの話し合いを行います。事前の参加申請などは必要ありませんので、当日、お気軽にお集まりください。

【場所】大船渡市末崎町字石浜 34-1 気仙市民復興連絡会事務所 TEL/0192-47-3271

### ◆ 本紙(復興ニュース)の入手方法についてのご案内 ◆

発行は毎週火曜・金曜日です。配布(掲示)場所は下記のとおりです。(7/5 現在)御協力いただいている店舗さま・関係者各位さま、いつもありがとうございます。

#### 【復興ニュース配布場所】(順不同・敬称略)

##### (陸前高田市)

- ・モビリア仮設住宅(下)全戸
- ・マイヤ米崎出張販売所・相野果樹園跡(お花コーナーの後方)

##### (大船渡市)

- ・カメラアホール[大船渡市盛町](1階ホール)
- ・大船渡市役所([受付]から左に進んだ左手欄)
- ・大船渡地区合同庁舎(1階ロビー&1階売店)
- ・大船渡社会福祉協議会(ボランティアセンター)
- ・サン・リア(インフォメーションカウンター)
- ・リアスホール[大船渡市](警察官詰め所横の棚)
- ・薬王堂 大船渡盛店(レジ裏お知らせコーナー)
- ・薬王堂 大船渡店(レジ横し字カウンター端)
- ・マイヤ 大船渡インター店(レジ後方ガラス窓沿いのカウンター)
- ・YSセンター(情報コーナー)
- ・福祉の里(情報コーナー、1階ロビー)
- ・喫茶・ロリアン[大船渡市盛町]
- ・ダイマル店頭[大船渡市盛町商店街]
- ・佐々木荒物店レジ横[大船渡市盛町商店街]
- ・綾里中学校仮設住宅全戸(住民Nさんによる配布協力)
- ・蛸ノ浦小学校仮設住宅 全戸

陸前高田市エリアの配布が現時点でまだ少ないですが、順次増やしていく予定です。

その他の仮設住宅などにも順次ポスティング配布していきたいと検討中ですが、配布人員が足りずすべての仮設住宅への配布が難しい状況です。仮設住宅にお住いの方で、たとえば『自分が住んでいる仮設住宅のぶんだけならボランティアで配布できるなあ…』といった方など、ご協力いただけるとありがたいです。また“ご自由にお取りください”のような設置型配布、“ご自由にご覧ください”のようなクリアファイルなどを用いた閲覧ブック設置にご協力くださる店舗さまや団体さまも募集しています。

[復興ニュース]第28号 2011.7.5.

発行 : 気仙市民復興連絡会 広報

Tel&Fax 0192-47-3271 携帯: 080-2801-5352(呼)山口(奈)

[kesenshimin.f.r@gmail.com](mailto:kesenshimin.f.r@gmail.com)

<http://kesen-chiku.ecom-plat.jp>